

イオパミロン注を使用した腹部 CT および冠動脈 CT 検査における投与ヨード量と造影効果に関する観察研究

<研究の背景・目的・意義>

造影剤を使用する CT 検査は、肝臓や心臓の疾患を調べるために、既に実施されている検査であり、有用性の高い検査です。一方、造影剤を使用する CT 検査では、体重や体脂肪率など患者さんの体格の違いが、病変の映り方に影響するという臨床報告がなされております。そこで、日常の造影剤を使用する CT 検査で投与されている造影剤の量と造影効果（映り方）の関係を調査し、その結果から、患者さんの体格に最適な造影剤の量を検討することが、より良い検査方法の発展につながると考え、当院を含む多施設共同の臨床研究が行われることとなりました。

<研究機関ならびに対象>

金沢大学附属病院を含む全国約 80 施設が参加して行う全国多施設共同研究です。冠動脈 CT 1,400 例、腹部 CT 1,400 例の患者様の登録を目標としています。金沢大学附属病院では、承認日～2012年11月30日の間に冠動脈 CT 検査を受けられる患者様 40 例の登録を目標としています。

<研究の方法>

本研究では通常の診療通りの方法で冠動脈 CT 検査が行われます。

そして、患者様の臨床情報（年齢、性別、対象疾患など）、CT 撮像条件、造影剤注入条件、画像情報を収集ならびに評価し、結果の解析を行います。

本研究によって新たな受診や検査などが必要になることはありませんし、本研究の検査法ならびに検査に使用する造影剤（イオパミロン注）は、通常の保険診療の適用範囲内で用いられます。したがって、患者様に新たな費用が生じ

ることはありません。

<個人情報保護への配慮>

本研究で用いられる資料では個人情報は匿名化され、個人が特定されることはありません。また、個人が特定されるような情報は一切公表されません。

この臨床研究に参加するかどうかは患者様の自由であり、たとえ研究への参加を拒否された場合でも不利益を受けることは一切ありません。上記の研究対象に該当する患者様で、ご自身の臨床情報を本研究に使わないで欲しいというご希望やご質問があれば、検査前に以下の窓口までご連絡ください。

<問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先>

金沢大学附属病院 放射線科 助教 香田 渉

〒920-8640 金沢市宝町 13-1

Tel : 076-265-2323 Fax : 076-234-4256